

岩村秀巖

と近代日本画

平成26年

11/22_[土]-12/23_[火・祝]

休館日 月曜日(ただし祝日の場合は翌日)
11月28日(金)

開館時間 午前9時30分~午後5時

入場料 無料

主催 芳賀町教育委員会



知恵の環館
芳賀町総合情報館

岩村秀巖 《山水図》右幅(部分) 1928年 紙本墨画 個人蔵





岩村秀巖《桃、鶯、燕の写生図》1930年 紙本着色 芳賀町教育委員会蔵



岩村秀巖《鯉の写生図》1930年 紙本着色 芳賀町教育委員会蔵

岩村秀巖と近代日本画

「日本画」という言葉は、幕末に日本に入ってきた「西洋画(洋画)」に対して、日本古来の絵画の総称として明治期に生まれました。日本が近代化を進めようとする時代に、日本画もヨーロッパの近代美術の影響を受け、新しい表現を模索します。

岩村秀巖(1874~1940)は、この時代が大きく変わろうとする明治初期に芳賀郡稲毛田村(現在の芳賀町)に生まれました。僅かな期間、上京して修業を積みますが、人生の大半を故郷芳賀の地で過ごしました。南画、日本美術院、円山派と様々な画風を学びながら独自の画風を築き、後に文展(文部省美術展覧会)や帝展(帝国美術院展覧会)に出品せずとも、入選以上の実力を有する「独立大家」と称されるようになります。

本展では、岩村秀巖の足跡をたどると共に、同じ栃木県出身の荒井寛方、秀巖に影響を与えた瀧和亭などの作品を展示し、近代日本画の魅力を紹介します。



荒井寛方《溫和》1901年 絹本着色 個人蔵
第10回日本絵画協会・第5回日本美術院連合絵画共進会



荒井寛方《十三仏図》1922年 絹本着色
芳賀町堀合・三日市地区蔵



岩村秀巖《水鳥図》双幅 紙本墨画 個人蔵



【催し物】

▼学芸員によるギャラリートーク

日 時：12月6日(土)

14:00 ~

場 所：展示室

※申し込み不要です。

当日、展示室前にお集まり下さい。

▼講演会

「近代日本画と日本美術院の流れー荒井寛方を中心として」

日 時：12月21日(日) 14:00~

場 所：多目的室

講 師：大木礼子氏

(さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-学芸員)

定 員：40名

※要事前申し込み

※当館学芸員による、岩村秀巖に関する解説も行います。

詳細は総合情報館(677-2525)にお問い合わせ下さい。

アクセス

- JR宇都宮駅西口3番乗場より祖母井、茂木方面行「芳賀温泉ロマンの湯」下車
- 自家用車…北関東自動車道真岡J.Cから約30分/JR宇都宮駅東口から約30分



知恵の環館

芳賀町総合情報館

〒321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1078

TEL:028-677-2525 FAX:028-677-2886

URL:http://www.town.haga.tochigi.jp/jouhoukan